

りょう Café のご案内



1. りょうCafé ー議会レポー

- 2019年4月5日(金) 19時~21時@中央公民館
 - 2019年4月6日(土) 13時~16時@飯山満公民館
- 平成31年第1回定例会の報告会です。今定例会で決まったこと、話し合われたことの注目ポイントを、石川りょうがわかりやすく解説します。

2. 出張りょうCafé

- 3人以上の人数を集めていただければ、石川りょうが市内のどこにでも伺ってりょうCafé議会レポを開催いたします。お問合せください。
- 日々の相談事や、船橋市政へのご意見・ご要望等は、お一人からでもいつでも受け付けています。ご都合の良い日時と場所に伺います!



*参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください!
*日時等の変更の可能性があるので、石川りょう公式サイト、他のSNS等で必ずご確認ください。

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら →



プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(一期目)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科



▲国際協力についての講演会の様子

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。
発行者:石川亮
住所:船橋市芝山3-26-1
携帯電話:080-6575-4711
固定電話:047-463-2690
メール:info@ishikawaryo.net

船橋市議会議員 無所属

石川りょう通信

Vol.23 討議資料



マニフェスト大賞優秀政策提言賞を受賞



▲授賞式にて審査委員長の北川正恭元三重県知事と記念撮影

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会や首長、市民の皆さんの優れた活動を表彰するため、年に1度開催される政策コンテストです。この度、私が幹事長を務める船橋市LGBT・性の多様性を考える議員連盟が全国2千を超える取組の中から優秀政策提言賞に選ばれました。

近年、船橋市議会に対して、市内在住のLGBTの方々からの声が届くようになりました。話を聞くと、同性同士でも賃貸住宅を借りやすくしてほしい、職場や学校でのいじめや偏見をなくしてほしいといった、万人に認められるはずの基本的な人権に関する主張でした。そうであれば、自治体議会としてできることを考え、政策提言していこうということで2016年に発足したのがこの議連です。

発足以降、10回以上の勉強会を開催して知見を深めるとともに、船橋市に対して様々な政策提言を行ってきました。その成果として、人権ポケットブックの発

行、市の主催によるLGBT理解促進のための講演会の開催、市内在住・在勤のLGBTの方々と市長との懇談会の実現などがあります。この懇談会の中で、①市役所や学校におけるLGBT理解促進のための研修の実施、②市役所内にLGBTに理解のある職員を配置すること、③公共施設にLGBTの方々も使いやすい多目的トイレを増設することなどの要望が出ました。その後、これらの事項をまとめて、議連から市長に対して予算要望を行いました。来年度以降に反映されるはずですが、

この議連の特筆すべきことは、自民党から共産党、無所属まで全ての会派から21人もの議員が名前を連ねていることです。社会的少数者の基本的人権を守るという共通の目標に対して、党派を超えて取り組んでいます。

私は、社会的弱者も少数者も温かく包摂され、多様性が認められる船橋(日本)を目指しています。



▲船橋市議会の取組について全国の議員にプレゼンテーション

西武船橋店跡地の再開発計画

西武船橋店跡地の現時点での再開発計画についてご報告します。最初に申し上げておきますが、あくまで現時点での計画であり、確定したものではありません。

この跡地の所有者である(株)セブン&アイ・クリエイティブリンク(以下、セブン&アイ)は、地上48階建て、低層階は商業施設で上層階はマンション(住居)というビルの建設を考えているようです。セブン&アイは、このビルの低層階に新しい市民ホールを作りますかと船橋市に対して提案をしてきている状況です。新しく整備される市民ホールをセブン&アイが所有し、船橋市に賃貸(リース)する方法です。

ちょっと待って。それじゃあ、今の文化ホールはどうするの?と思われた方もいらっしゃるね。セブン&アイは船橋市に対して、現在の文化ホールと中央公民館の入る建物と土地を約50億円で購入するという提案をしています。船橋市の収入と支出は右の表の通りです。

【船橋市の収入】
●現在の市民文化ホールと中央公民館の土地と建物の売却益:約50億円
【船橋市の支出】
●新ホールの購入費:約70億円
●新ホールの内装費:約30億円
●新ホールをリースするための頭金:約20億円

- (1) 船橋市は現在の文化ホールと中央公民館を売却して約50億円を手に入れます。
- (2) そのお金を新ホールの内装費に充てて、50億-30億=20億円。
- (3) 残った20億円を新ホールの頭金にして、20億-20億=0円。これで収支はゼロ。
- (4) 残った新ホールの購入代金(70億円)を利子付きの分割で支払っていくのです。

この分割期間を20年と30年の2パターンで試算すると以下ようになります。

【20年の場合】	【30年の場合】
船橋市は毎年約4億3千2百万円を支払い、20年後に総額約106億円(頭金20億円込)を支払うことによりホールの所有権を得ます(70億円に対して106億円払う)。	船橋市は毎年約3億3千3百万円を支払い、30年後に総額約120億円(頭金20億円込)を支払うことによりホールの所有権を得ます(70億円に対して120億円払う)。

現時点の案で示されている新ホールの客席数は1,000席。これでは現在の文化ホールと収容人数は変わりません。しかし、これからの提案次第で二階席を作ったりして収容人数は増やせる可能性があります。現時点では、あくまで、セブン&アイからの提案事項であり、船橋市は今後も協議を続けていくことになります。しかし、駅前の一等地ですから、事業者としてはなるべく早く事業に着工したいはず。船橋市は年単位で考える暇はなく、なるべく早く結論を出さなければなりません。ホールはできても中央公民館はどうなってしまうのか?船橋市の厳しい財政状況で、毎年3億円以上も払い続けることができるのか?など、様々な課題があります。西武跡地の再開発計画自体は民間事業ですが、ホールや公民館を入れるか入れないかに関しては船橋市の問題です。

皆さんの考えを是非ともお聞かせください。



▲船橋西武跡地の再開発計画のイメージ図

飯山満土地区画整理事業

私の地元は船橋芝山です。必然的に最寄りの飯山満駅で駅頭活動をする機会が多いのですが、多くの方に質問いただく内容が、飯山満土地区画整理事業が完了すると駅前がどのような姿になるのか?ということです。

この事業は平成4年から実施されており、25年以上経っているのにまだ完成していません。しかし、最近、飯山満駅東側の雑木林が伐採されたり、大型ダンプカーがせわしなく出入りして土砂を運んでいく様子が見られるようになり、急激に進展しています。そこで、私から飯山満土地区画整理事業事務所に問合せたところ、バーチャルリアリティ(VR)で作成した簡単なイメージ図があるということで公開してもらいました。飯山満駅前のまちづくり掲示板にもこのVR図を掲示してもらいましたので見てみてください。ちなみに、この事業が完成するのは7年後で、前原方面へ続く待望の道路(都市計画道路3・4・27号線)が開通するのは5年後の予定です。



JR南船橋駅南口市有地の活用

この通信で何度も取り上げてきましたが、JR南船橋駅南口前の広大な市有地の活用方法につき具体的なイメージが出来上がってきたのでご報告します。

右下の図が示すように5街区に分け、AとC街区の土地を売却し共同住宅にします。D街区は定期借地として、商業・回遊街区として、住民要望の高い生活利便に資する商業施設を配置したり、観光客を対象としたインフォメーションセンターを配置します。最も広いB街区は広場・商業街区として、住民要望の高い大規模な広場を配置し、それを中心とした賑わいを創出する集客施設を配置します。ここも定期借地として民間に貸し出し、民間のアイデアと資金を使って施設を建設・運営してもらいます。E街区は福祉街区として、市が独自に活用をして福祉施設とします。そ

して、スムーズな人の移動、回遊性向上のために片側1車線で両側歩道を配置した街区道路を作り、駅前には交通広場を配置する予定です。

この計画はあくまで案なので、まだ最終決定ではありませんが、これをもとに、船橋市は、今年の秋頃には、この地域を一体的に開発する民間事業者を選定していきたいと考えています。

